

[ほっかいどうだいがくのうがくぶはくぶつかん
ばちえらーきねんかん]

北海道大学農学部博物館 バチェラー記念館

ジョン・バチェラーの自邸

ジョン・バチェラーは、英国聖公会宣教師で、アイヌの人たちの子弟教育や伝道により、「アイヌ研究の父」として知られている。また、アイヌ研究者としても有名であり、アイヌ民族関係の著書は40冊以上を数える。

この建物は、北3条西7丁目にあったジョン・バチェラーの自邸であった。昭和16(1941)年にバチェラーが帰国した後、財団法人ジョン・バチェラー学園が管理、昭和28(1953)年に北海道に譲渡された。昭和37(1962)年に、遺品とともに北海道大学に寄贈された。

昭和37(1962)年、植物園内に移築、昭和39(1964)年には農学部博物館分館、通称「アイヌ博物館」として開館した。

簡素な建物

木造2階建下見板張で、玄関両脇の多角形出窓のほかは、簡素な印象の建物だが、移築前の姿には玄関の正面上部に明治建築特有の十字型飾りや棟飾りがあり、屋根には2本の集合煙突が付き、窓枠と外壁とを2色で塗り分けていた。

平成元(1989)年、周囲に建つ重要文化財植物園施設群の修復工事の際に、北に20m再移築された。現在は収蔵庫として利用されている。

非公開であるが、2階にはジョン・バチェラーゆかりの家具などを展示した記念室がある。

概要

- 木造2階建、鉄板葺
- 建築面積 129 m²



● **建築年代:** 明治 31 (1898) 年

● **登録年月日:** 平成 12 (2000) 年 4 月 28 日

● **所在地:** 札幌市中央区北 3 条西 8 丁目
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
耕地園ステーション植物園

● **お問い合わせ:** 国立大学法人北海道大学
北方生物圏フィールド科学センター
耕地園ステーション植物園
☎ 221-0066

● **観覧形態:** 外観観覧のみ

● **観覧時間:** 9時00分～16時30分
(入園は16時00分まで) (4月29日～9月30日)
9時00分～16時00分
(入園は15時30分まで) (10月1日～11月3日)

● **休館日:** 月曜日(祝日の場合は翌日)、
冬期間 (11月4日～4月28日)

● **観覧料:** 植物園入園料
大人420円(30人以上団体350円)
小・中学生300円(団体240円)

アクセス

地下鉄: さっぽろ駅10番出口、大通駅2番出口、
西11丁目駅4番出口より約800m
バス: 「北5西7」(JRバス・中央バス)
「北1西7」(JRバス・中央バス・じょうてつバス)
より約400m

